学校番号	1010

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	図説情報Ⅰ（実教出版株式会社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することをめざしましょう。

２　学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。

(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについては、情報に関する法規や制度及びマナー、個人が果たす役割や責任等について、情報と情報技術の理解と併せて身に付ける。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養うとともに、問題を発見・解決する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	1章 情報社会と問題解決	1節 問題解決 2節 情報社会における法規と制度 3節 情報セキュリティと個人が行う対策 ●基本操作と入力操作の習得	a:検索エンジンを利用し、さまざまな情報から必要な情報を収集する技能を身に付けている。 b:適切な情報収集方法を選択し、幅広い観点から情報を収集できる。 c: 関心・意欲をもって、収集した情報の整理分析などを行い、主体的に問題解決に取り組んでいる。	小テスト 定期考査	実習課題提出	振り返りシート ノート提出
	2章コミュニケーションと情報デザイン	1節 メディア 2節 コミュニケーション 3節 情報デザインと表現の工夫 4節 コンテンツの制作 ●文書作成に適したアプリケーションの技能習得	a:文字、音声、図表、静止画・動画の各表現メディア、情報メディア、伝達メディアの特性を理解している。 b:インターネットを利用したコミュニケーションについて、対面の場合と比較し、気を付けるべき点について説明することができる。 c:情報をわかりやすく伝達するために、文字、図表、グラフなどの表現方法について学習活動を行い、自ら改善しようとしている。	小テスト 定期考査	実習課題提出 実習テスト	振り返りシート ノート提出
2	3章 情報とコンピュータ	1節 情報の表し方 2節 コンピュータでのデジタル表現 3節 情報機器とコンピュータ ●表計算ソフトのアプリケーションの技能習得と分析力の習得	a:コンピュータ内部の数値表現方法である 2 進数から、10 進数や 16 進数へ相互に変換する方法を理解している。・音やデジタル化（標本化、量子化、符号化）の仕組みについて理解している。 b: 適切な情報量の単位で表現することができる。・生活のさまざまな場面で活用されている情報機器の例をあげて説明することができる。 c: 生活で利用されている情報機器の種類や特徴などの学習活動について、興味・関心をもって取り組んでいる。	小テスト 定期考査	実習課題提出	振り返りシート ノート提出

	4章 アルゴリズムとプログラミング	1節 アルゴリズムと基本構造 2節 プログラムの基礎 3節 プログラムの応用	a: アルゴリズムを文章(箇条書き)やフローチャートなどの図で作成することができる。 b:作成したアルゴリズム文章(箇条書き)やフローチャートが正しいかどうか検討することができる。 c:問題解決のためにアルゴリズムを考え、効率的なプログラムを粘り強く作成しようとしている。	小テスト 定期考査	実習課題提出 実習テスト	振り返りシート ノート提出
3	5章モデル化とデータの活用	1．モデル化の基礎 2．モデル化（図的モデル） 1．シミュレーションの基礎 2．シミュレーション（確定的モデル） 3．シミュレーション（確率的モデル） 1．データの収集 2．データの分析	a:モデル化の目的や手順、モデルの分類方法について理解している。 b:簡単な自動販売機の動作をモデル化し、状態遷移図で表現することができる。 c: 問題解決のためのデータの分析に対し、繰返し粘り強く取り組んでいる。	小テスト 定期考査	実習課題提出	振り返りシート ノート提出
	6章 ネットワークと情報システム	1節 ネットワークの仕組み 2節 情報システムとサービス 3節 情報セキュリティ ●プレゼンテーションアプリを使ったプレゼンテーション技能の習得	a:インターネットに接続するための機器や LAN の構成について理解している。 b:家庭内のＬＡＮの配線例をあげて、インターネットに接続されている機器の概要を説明することができる。 c:個人もしくはグループで、身近な情報システム仕組みやデータの流れについて調べるなどの学習活動に積極的に参画している。	小テスト 定期考査	実習課題提出 実習テスト	振り返りシート ノート提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度